

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

### 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や画像検査を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	食道亜全摘術における Collard 変法の有用性についての検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 消化管・腫瘍外科学講座 (職名) 助教 (氏名) 久米達彦
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2028年 3月 31日
対象となる方	2018年1月から2026年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち食道亜全摘術、胃管再建を施行された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、身長、体重、BMI、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、手術記録 等
研究の概要 (目的・方法)	食道亜全摘術後の吻合部狭窄は、食事摂取や誤嚥性肺炎の面からも患者さんの術後生活に大きな影響を及ぼします。当院では、吻合部狭窄に利点のある吻合法である Collard 変法を導入しており、当院で手術を受けられた患者さんにおいても吻合部狭窄が他の吻合法と比較して有意に減少することが確認されています。しかし、Collard 変法が術後体重や体組成に与える影響については不透明であり、本研究ではその有用性を検証することを目的としています。
個人情報の保護 について	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一

	切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院消化管腫瘍外科 久米達彦 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5975